

# サイバーフォトリックプラットフォームコンソーシアム Cyber Photonic Platform Consortium (CPPC)

## 背景 1

IoT・ビッグデータ・AIへの高まる期待、5Gモバイル・8K映像への急速な進展等、これらの可能性を最大限に活用するには、誰にでも使える簡便性と、超広帯域・超低遅延の高速性を両立するこれまでにない光レイヤー<sup>(注)</sup>の実現が鍵になります。

## 背景 2

(注) 光トランシーバや光スイッチなどの光部品によって構成された光トランスポート層ネットワークの総称

情報通信インフラは、所謂OTT<sup>(注)</sup>などが形成しようとしている世界的な潮流によって、今まさに、従来のあり方を根底から覆す大きな変革が始まろうとしています。本コンソーシアムの狙いは、これを好機として捉え、光情報通信産業がこの変革によって益々発展していくためのエコシステムを構築することにあります。

(注) Over The Top: Google Facebook 等の大量のデータを扱うコンテンツ・サービスを提供する業者

## 狙い

光レイヤーを、誰でも簡便に、アプリケーションから直接使えるようにする

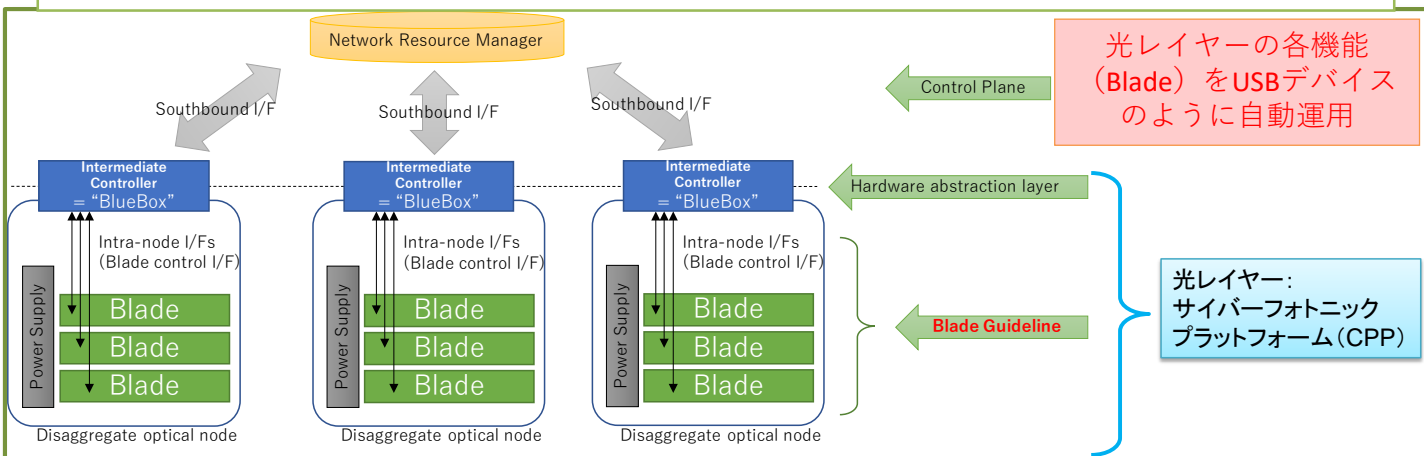
新しい、ミッションクリティカルなサービス、超高精細映像関連サービス等を創出する

## サイバーフォトリックプラットフォーム (CPP) とは

サイバーフィジカルシステム (CPS) の構成要素として自由に利活用できるほど、高い可用性を提供する、光レイヤーの新しいプラットフォーム。

### 要するに、

- 誰にでも、簡便・安価に高性能な光ネットワークを構築・運営できるようにするしくみ。
- 誰でも独自技術を光ネットワーク構成機器として供給できるしくみ。



# サイバーフォトリックプラットフォームコンソーシアム Cyber Photonic Platform Consortium (CPPC)

実世界とサイバー空間を融合することにより、新たな価値創造を図るサイバーフィジカルシステムは、5G、エッジコンピューティング、4K/8K映像配信などの普及に伴い、今後ますます重要となることが期待されています。一方、ムーアの法則が終焉に向かいつつある中、これを持続させるために、ネットワークや計算資源の仮想化・自動化技術、さらには、光レイヤーの構成をもソフト的且つ動的に再構成可能とする汎用化技術、すなわち「光レイヤーのユニバーサルな自動化」が不可欠です。これが実現されれば、低遅延・広帯域な光レイヤーをユーザーサイドでも簡便に運用可能となり、超スマート社会に向けた新しいユースケースの創出も期待されます。

本コンソーシアムは、技術部会で、オープン且つヘテロなエコシステムによって構成される光レイヤーを自由且つ簡便に、統合的に自動運用できる仕組みを明確にすると同時に、応用研究部会で、これが実現した際に、どのようなアプリケーションやユースケースが可能となるかを考える、異業種交流の場を提供いたします。

技術部会	活動内容	応用研究部会
<ul style="list-style-type: none"> <li>どのようなしくみにすれば良いかを議論して、規格を定めていく活動を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのしくみのユースケースやアプリケーションに関する交流活動を行います。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>年会費：30万円／年</li> <li>2か月に1回程度。午後半日／回。後半は応用研究部会と合同。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>年会費と活動頻度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2か月に1回程度。午後の後半／回（技術部会と合同）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年会費：5万円／年</li> </ul>

加入するメリットと想定する機関	
<ul style="list-style-type: none"> <li>一社単独ではできない、共通規格の策定</li> <li>潜在顧客などとの交流</li> <li>テストベッドでのPoCの実施</li> <li>専用網を構築・運営に関するすべての事業者、システム機器、サブシステム機器ベンダ他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術動向の把握と啓蒙活動</li> <li>技術提携などに関する情報交換</li> <li>PoC実施による情報発信</li> <li>広帯域低遅延を必要とするすべてのアプリケーション事業者、映像・医療機器ベンダ他</li> </ul>

## お申し込み

- 下記ご入会フォームの内容を、メールにて下記アドレスまで、ご送付ください。
- cppc-secretariat-ml@aist.go.jp

## ご入会お申し込みフォーム

- 機関名
- ご担当者氏名・ご所属・役職
- 住所・電話番号
- Emailアドレス
- 入会希望部会： 技術部会、または、応用研究部会
- 通信欄